

寄言 ; (程順則 名護親方)  
 作曲 : miyako

本調子

七	五、七	工、尺	上、上	四、四	上、尺	工、合	工、五	合、老	四、上
									老

ハ  
ジ  
ユ

ウ	ミ	チ	ミ	リ	イ				
四、老	四、上	尺、老	五、尺	工、尺	工	五	上	尺	工、合

ア	サ	ユ	ン	ム	ヌ	グ	ウ	ト	ウ	ニ	イ		
七、七	五、五	工、尺	上、尺	四、上	乙、尺	合	合、老	四	四、上	四、上			

チ	ム	ウ	サ	ミ	ユ	ル	カ	ナ	ミ	ト	ウ
乙、尺	合、上	合、老	四、老	上、尺	工、尺	工、五	七、七	五、五	工、尺	工、上	尺、四、上

ム	リ								
尺、五	工、五	上、尺	老、工	合、工	尺、尺				

一、恥ゆ思み詰みり 朝夕物事に 二、意見寄言や 身の上の宝  
 我肝修みゆる 要と思り 耳の根ゆ開きて 肝に留みり

三、肝の根の責縄 そさうにしちからや 四、欲悪の事や 塵程も持ちな  
 手墨学問も 仇となゆる 塵積むてからや 山どなゆる

五、見馴れ聞き馴れや 覺らじに染ん  
 そさうに有る人の 側にをるな